



高原栄征先生

● っていくべきであると考えています。

教員としての専門性として、次の6つをあげることができると思います。

- 一つ、児童生徒をよく知っている
  - 一つ、教育の目的をきちんと理解している
  - 一つ、教育の内容を熟知している
  - 一つ、教育の方法を知っている
  - 一つ、教材の使い方を知っている
  - 一つ、向上心があり品性が高く意欲がある
- ところで、研修とは、研究と修養であるといわれますが、研修には、楽しい研修もあれば、当然厳しい研修もあります。この厳しい研修にも意欲的に取り組んでいくことが、今、教師に求められています。

それは、私たちは教育の専門家として子供を成長させるために重要な責任を負っているからであり、先生方はそういった資質を高める努力が必要だという意識を持たなければと思います。

また、これからの社会は個性を大切にする時代です。例えばT・Tなどはそのようなことから導入されてきたものですから、“わからない” “できない” ではすまされません。積極的に取り組んでほしいものです。

さらに、生徒指導上の諸問題に十分対応でき

る資質も身に付けてほしいですね。そして、組織の一員としての自覚をしっかり持ってほしいですね。

それから多様な物差しを持ち、幅広い指導ができることも大切な資質ではないでしょうか。庄司 できるだけ広い視野から、一人の教師としてのアイデンティティをつくる必要があるではないでしょうか。そのためには、日頃から自分なりの“こだわり”と言いましょか、課題意識を持つことですね。それが教師としての資質の向上だけでなく、張り合いにも繋がるのではないのでしょうか。

松崎 わたしは、二つのことについて話したいと思います。

一つは、研修を通して共に豊かに学び合う人間関係を培っていきたいということです。

例えば、若い先生方は、コンピュータを得意としています。T・Tの授業も思いきって実践します。ベテラン教師は、授業のノウハウを熟知しています。それぞれのよさをお互いに学び合うことが大事だと思います。

● もう一つは、女性教師に温かい手を差し伸べていただきたいということです。女性教師はいずれも真面目で、研修意欲もあります。しかし、女性にとっては避けられない“出産” “育児” という問題があります。そんな女性教師のライフサイクルを考慮し、常に前向きで研修できるセクションなどを配慮していくことが大事ではないのでしょうか。

みんなで高まろうとする精神があってこそ研修効果が上がるのではないかと考えています。

#### 【校内研修の実践的方法】

佐久間 校内研修を具体的に展開していく方法は、それぞれの学校の実態に即して考えなけれ